

平成 25 年 6 月 10 日

各位

会社名	株式会社セルシード
代表者氏名	代表取締役社長 長谷川 幸雄 (コード番号：7776)
本店所在地	東京都新宿区原町 3-61
問合せ先	取締役最高財務責任者管理部門長 細野 恭史
電話番号	03-5286-6231

「角膜内皮再生シート」に関する韓国特許についてのお知らせ

細胞シート工学による角膜内皮組織再生（「角膜内皮再生シート」）を利用した角膜内皮疾患治療技術）に関する下記特許が、この度韓国で成立する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

特許出願番号：2005-7014139 号

発明の名称： 前眼部関連細胞シート、3次元構造体、及びそれらの製造法

登録国： 韓国

当社は、東京女子医科大学の岡野光夫教授（当社取締役）が考案した温度応答性細胞培養器材を活用した細胞シート工学を駆使して様々な組織及び臓器を再生する「細胞シート再生医療」の事業化に取り組んでおります。当社では、以前に移植用「角膜内皮細胞シート」に関する韓国特許を取得したことを報告いたしましたが（平成 25 年 1 月 22 日公表「移植用『角膜内皮再生シート』に関する韓国特許についてのお知らせ」）、この度は用途が移植に限定されない「角膜内皮再生シート」のそのものについても成立する見込みとなりました。

角膜は目の最も外側（外界に触れる部分）にあつていわゆる黒目の前に位置する透明な膜であり、大きく分けて角膜上皮組織、ボーマン膜、角膜実質組織、デスメ膜並びに角膜内皮組織の 5 層からなります。現在当社が開発中の角膜再生上皮シートが角膜上皮組織（角膜の最も外側に位置する組織）の再生を目的としているのに対し、本特許で示されている角膜内皮再生シートは角膜の最も内側に位置する角膜内皮組織の再生を目的とするものです。

角膜はとてもむくみやすく、水分を過剰に含むと濁るとされています。（代表的な疾患として、例えば水疱性角膜症が挙げられます。）角膜内皮組織は 1 層の角膜内皮細胞からなる薄い層ですが、角膜内の過剰な水分を汲み出して角膜の水分量を適切な範囲に保ちかつその透明性を保つという重要な役割を担っている組織です。角膜内皮細胞の数は加齢とともに減少していくことが知られており、細胞数が顕著に減少した場合には角膜移植以外に根本的な治療方法がないのが現状とされています。

今般成立する見込みとなった特許で示されている「角膜内皮再生シート」は、世界で唯一当社が商業化している「温度応答性細胞培養器材」を用いて角膜内皮様組織（「角膜内皮再生シート」）として回収したものを指します。その治療コンセプトは、患者さまご本人の細胞から角膜内皮細胞シートを作製して移植することにより上述の水疱性角膜症などの角膜内皮疾患に対して根本的な治療を施すというものです。

当社は既に角膜再生上皮シートの事業化に取り組んでおりますが、本特許は同じ角膜を対象とする治療領域の中で角膜内皮の再生という新たな治療領域への展開可能性を切り拓く成果です。

今回の特許成立は、角膜内皮再生シートの革新性を示す証左の 1 つであると捉えることができます。

なお、本件が平成 25 年 12 月期業績に与える影響は軽微であると考えております。

以 上